平成２３年度

廃棄物資源循環学会 研究討論会 参加案内

平成 23 年度の研究討論会が、平成 23 年 5 月 31 日(火)から 6 月 1 日(水)の 2 日間、川崎市産業振興会館において開催されます。本会では、日常生活から社会の生産活動に至る廃棄物の諸問題や資源循環に纏わるテーマについて、市民、企業、行政の様々な立場からの討論を通じて理解を深めたいと思います。また，今年度もポスター発表を行ないます。募集要綱を下記学会 HP に掲載しています。多くのみなさまのご参加をお待ちしております。
（http://jsmcwm.or.jp/nenkai/touronkai2011_poster.html）

●主　　催：一般社団法人 廃棄物資源循環学会
●協　　賛：大阪湾広域臨海環境整備センター、（財）クリーン・ジャパン・センター、(財)産業環境管理協会、（財）産業廃棄物処理事業振興財団、(財)石炭エネルギーセンター、(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構、（社）全国都市清掃会議、(社)全国産業廃棄物連合会、日本 LCA 学会、（財）日本環境衛生センター、(財) 日本環境整備教育センター、(財) 日本産業廃棄物処理振興センター、プラスチックリサイクル化学研究会
●開 催 日：平成 23 年 5 月 31 日(火)，6 月 1 日(水)
●開催場所：川崎市産業振興会館
住所　神奈川県川崎市幸区堀川町 66-20
電話　044-548-4111
最寄駅　ＪＲ川崎駅西口　徒歩 8 分，京急川崎駅　徒歩 7 分

●参加費：受付は当日のみです（事前参加申込みはいたしません）。参加費は会場でお支払い下さい。参加費には、研究討論会講演集代が含まれます。なお、総会のみの出席は無料です。

	参加費（講演集代含む）
正会員、シニア会員、 公益・賛助会員所属、協賛学会等会員	5,000 円
学生会員、個人市民会員、登録団体市民会員	1,000 円
非会員	7,000 円

【意見交換会】
意見交換会の申込みは、討論会当日、会場にてお申込み下さい。
参加費：5,000 円

● タイムスケジュール：

開催日	時　間	ホール（1階）	企画展示場(4階)
5月31日(火)	9:30～	受付	
	10:00～11:50	廃棄物処理法及び基本方針の改定と計画―直面する災害廃棄物処理を含め廃棄物処理計画のあり方を討論―（廃棄物計画部会）	
	11:50～13:00	昼休み	
	13:00～15:10	東日本大震災における災害廃棄物の現状と今後の課題（東北支部･関東支部設立準備会）	
	15:30～17:00	総会	
	17:30～19:30		意見交換会
6月1日(水)	9:00～	受付	
	9:15～11:05	協働型集団回収について（リサイクルシステム･技術研究部会）	（ポスター掲出）
	11:10～12:10		ポスターセッション及びパネル展示
	12:10～13:10	昼休み	
	13:10～15:00	アスベスト－負の遺産処理と環境管理を考える（廃棄物試験・検査法研究部会）	
	15:10～17:00	金属資源の物質フローとリサイクル･廃棄物管理（物質フロー研究部会）	

●各討論会の内容：（内容は予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。）

5月31日(火)　10:00～11:50　　ホール（1階）

「廃棄物処理法及び基本方針の改定と計画
―直面する災害廃棄物処理を含め廃棄物処理計画のあり方を討論―」

（廃棄物計画部会企画）

廃棄物処理法の改正が平成22年5月19日に公布され、H23年4月1日に施行される。また、平成22年12月廃棄物処理法第5条の2第1項に基づく「廃棄物の減量その他その適正な処理に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な方針」の変更が行われた。

初めに「廃棄物処理法及び基本方針の改定経緯と計画」を環境省の明石氏に説明していただき、次に国と市町村と事業者を結ぶ都道府県の立場から、平成23年度4月1日施行の第3次茨城県廃棄物処理計画を策定した同県の齋藤氏に「住民のための廃棄物行政の道標―廃棄物処理計画策定―は如何にあるべきか」を話していただく。最後に国立環境研究所の大迫氏から、低成長、少子・高齢化、地方分権等の社会変化、グリーン・イノベーション、国際情勢を背景とした日本の循環型社会形成のために、廃棄物処理法、基本方針の在り方も含め「変化する社会状況に望まれる廃棄物処理計画」を話していただく。

今回の討論会では、廃棄物処理法の改正、基本方針の変更を踏まえながら、可能な限り環境負荷低減、省資源、効率的マネジメントを目標に、低炭素、自然共生社会と両立させる「住民のための廃棄物行政」を実現する基本的な廃棄物処理計画のあり方を議論する。

また、日本国を揺るがしている東日本大震災の災害廃棄物処理の対応に、3人のパネリストの方々は、今まさに直面し奮闘されていらっしゃいますので、現時点での「災害廃棄物の現状を踏まえた対応のポイント（留意点）」もお話いただき、廃棄物処理計画の議論の中で触れる予定です。

司会進行　臼井　直人　（大成建設（株）環境本部）
代表挨拶　中村　恵子　（健康･環境デザイン研究所）
●コーディネーター
　　西川　光善　（㈱エックス都市研究所　技術顧問）
●パネリスト
　1.「廃棄物処理法及び基本方針の改定経緯と計画」

近藤　慎吾　(環境省　大臣官房廃棄物･ﾘｻｲｸﾙ対策部　企画課係長)
2.「住民のための廃棄物行政の道標―廃棄物処理計画策定―は如何にあるべきか」
齋藤　美子　(茨城県　生活環境部廃棄物対策課　減量化･ﾘｻｲｸﾙグループ)
3.「変化する社会状況に望まれる廃棄物処理計画」
大迫　政浩　((独)国立環境研究所　資源循環廃棄物研究センター長)

5 月 31 日(火)　13:00～15:10　　ホール(1階)

「東日本大震災における災害廃棄物の現状と今後の課題」

(震災関係の**東北支部･関東支部設立準備会企画**)

東日本大震災による災害廃棄物の問題については、適正かつ迅速な処理に向けて懸命な努力が続けられている。国からも処理指針（マスタープラン）が示され、各県は策定する実行計画を元に、災害廃棄物の処理も本格化することが期待される。本企画では、学会本部主催で 4/30 に開催された緊急報告集会に引き続き、研究討論会の機会を活用して、第二弾の震災関連報告の場を東北支部･関東支部準備会において設けさせて頂いた。現状と今後の課題解決に向けて、情報共有と意見交換が出来ればと考えている。

司会：大迫政浩（(独)国立環境研究所）
1.趣旨説明　大迫政浩（(独)国立環境研究所）
2.岩手県・宮城県の状況　吉岡敏明（東北大学）
3.福島県の状況　鴨田美奈子（福島県生活環境部）
4.釜石市における試行事業　西川光善（社団法人廃棄物コンサルタント協会）
5.総合討論

6 月 1 日(水)　9:15～11:05　　ホール (1階)

「協働型集団回収について」

(**リサイクルシステム･技術研究部会企画**)

前回の容器包装ﾘｻｲｸﾙ法の見直しでは、市町村の分別収集･処理保管のｺｽﾄや国民の環境意識の低さが課題として残り、その一つの方策として多様な回収の仕組みが望まれるとの方向性が示唆された。全国各地域の調査結果より、市町村が関与した集団回収が、社会的ｺｽﾄの低減及び地域ｺﾐｭﾆﾃｨｰ活性化や環境意識の向上に寄与することが判明したことより、“協働型集団回収”推進について議論する。

司会進行　山本　耕平　(㈱ダイナックス都市環境研究所)
パネラー
1. 酒巻　弘三　(スチール缶ﾘｻｲｸﾙ協会)
2. 中島　桂一　(江別市)
3. 東　龍夫　((有)ひがしﾘｻｲｸﾙサービス)
4. 吉川　太郎　(東京都資源回収事業協同組合)

6 月 1 日(水)　13:10～15:00　　ホール (1階)

「アスベスト－負の遺産処理と環境管理を考える」

(**廃棄物試験･検査法研究部会企画**)

当部会では、石綿測定に関して共同分析を行い、技術向上に向けた取り組みを行ってきた。石綿含有物の問題は、製造禁止とともに静脈側に移行しつつあるが、石綿廃棄物の安全処理とともに、未着手の建築物の石綿含有判定、中皮腫患者の上昇、途上国での不適切な処理、石綿含有材の除去に伴う飛散管理などまだまだ解決せねばならない課題が残されている。今後の石綿対策はどうあるべきか、改めて石綿のﾘｽｸを考え、その中で石綿の測定方法の意義を考える。建築物の石綿含有建材への対策がどうなっているのか、また解体現場でどのような管理が行われているのか、廃棄物処理の前段階での石綿対策の重要な課題を議論しつつ、石綿廃棄物の処理のあり方を議論する多くの方々の参加が望まれる。

司会進行　豊口　敏之　((株)環境管理センター)
1.「(仮) 石綿による健康影響と今後のﾘｽｸ管理のあり方」　村山　武彦　(早稲田大学)

2.「(仮) 建築物の石綿含有に係る調査」　竹村　好史　(国土交通省)
3.「(仮) 解体現場における石綿飛散管理」　小坂　浩　(元兵庫県立健康科学研究センター)
4.「(仮) 一般環境と廃棄物処理過程の石綿濃度」　貴田　晶子　((独) 国立環境研究所)
質疑と総合討論

6 月 1 日(水)　15:10～17:00　ホール (1階)

「金属資源の物質フローとリサイクル・廃棄物管理」

(物質フロー研究部会企画)

戦略的な先端産業展開と持続的な資源確保は、重要な国家戦略の一つになってきた。レアアース、レアメタルとともに、ベースメタルも重要な戦略資源となりつつある。国内で循環できるシステムを、まずは構想しなければならない。また、経済成長著しいアジア地域での資源利用に向けた協調として、適正なリサイクル、廃棄物管理、環境保全に資する構想が求められている。静脈メジャー展開という政策が打ち出されている中、金属資源をめぐる物質フローの現状と将来を見据えて、リサイクルと廃棄物管理の役割を議論する。メインプレーヤーである金属精錬事業者を中心に、関連の調査や研究を行っている研究者による総合討論の場を企画した。産業の第一線、研究の第一線を知り、将来を展望するいい機会になるものと思われる。奮ってご参加いただきたい。

司会進行　酒井　伸一 (京都大学)
1.「(仮) 静脈メジャー構想の背景と期待」　谷津　龍太郎 (環境省)
2.「(仮) DOWA グループの金属精錬事業の展開とリサイクル・廃棄物管理」
吉田　勧　(DOWA エコシステム㈱)
3.「(仮) 三菱マテリアルの金属精錬事業の展開とリサイクル・廃棄物管理」
林　庄作　(三菱マテリアル㈱)
4.「(仮) 三井金属の金属精錬に関係する物質フローと鉛リサイクル・廃棄物管理」
太田　洋文　(三井金属鉱業(株))
5.「(仮) 金属精錬に関連する物質フローの現状と将来」　中條　寛　(㈱三菱総合研究所)
6.「(仮) 廃電池の排出動態とリサイクルの今後」　浅利　美鈴　(京都大学)
7.「(仮) 金属資源の物質フローに関する中長期展望」　岡部　徹　(東京大学)
質疑と総合討論

平成 23 年度廃棄物学会研究討論会ポスター発表の募集

開 催 日：平成23年5月31日(火)、6月1日(水)
開催場所：川崎市産業振興会館（川崎市幸区堀川 66-20）

研究討論会ポスターの募集要項

①内　　容：次の 4 つの分類のいずれかでお申し込み下さい。

〇一般の研究発表（提案型、経過報告型の発表を歓迎します）
〇主に消費者・市民の方々を対象とした活動報告
〇主に企業の方々を対象とした技術報告
（製品等の紹介を趣旨とするご報告については、報告料を申し受けます。）
〇研究部会による活動報告

詳細は、廃棄物資源循環学会ホームページ（http://www.jsmcwm.or.jp）でご確認下さい。ご不明な点がありましたら、happyoukai@jsmcwm.or.jp までメールでお問い合わせ下さい。

②発表原稿の作成：

- 研究討論会講演集に掲載する発表原稿（**原則としてポスターの縮小版**）を提出して下さい。
- 投稿原稿は、Adobe Acrobat 4.0 以降（Adobe Acrobat 7 以降推奨）を用いて作成した **PDF ファイル（PDF 形式）**とします。なるべく正規の Acrobat から Adobe PDF(Acrobat Distiller)を用いて作成して下さい。
- **ファイルサイズは 500 KB 程度を標準、最大でも 1MB 以内**とし、印刷した場合のページ数が **A4 判 1 ページ**となるよう（ポスターを縮小して）PDF ファイルを作成して下さい。ファイルサイズを 1MB 以内にすると支障がある場合は，学会事務局までお問合せ下さい。
- **カラーは使用せず、白黒で**作成して下さい。
- 提出前に Adobe Reader を用いて、作成した PDF ファイルの原稿が意図した通りに印刷されることを確認して下さい。機種／フォントに依存する特殊文字、半角カナおよび HG 系のフォントは文字化け等の原因となりますので使用しないで下さい。原則として、フォントを埋め込んで下さい。**なお、編集・印刷のため、PDF ファイルにパスワードの設定は行わないで下さい。**
- 提出後の発表原稿差し替えは不可とします。
- 発表原稿の著作権は、当会に帰属しますのでご了承下さい。

③発表申込方法：

- 発表申込書（XLS 形式のファイル）と発表原稿を添付書類として touronkai@jsmcwm.or.jp まで送付して下さい。
  ※ファイル名は講演者氏名として下さい。
  講演者氏名.xls　（例：廃棄物太郎.xls）　講演者氏名.pdf（例：廃棄物太郎.pdf）
  ※メールの件名
  研究討論会申込（講演者氏名）　（例：研究討論会申込（廃棄物太郎））
- **送付期限：平成 23 年 4 月 15 日（金）　12 時まで**
- 発表申込書は学会ホームページ（http://www.jsmcwm.or.jp）からダウンロードして下さい。

ポスター発表

ポスター発表は、2 日目に行われます。

1. 発表者であっても参加登録、参加費は必要です。

2. 講演１件あたりのポスター貼り付けスペースは、タテ 118.9 ㎝×ヨコ 84.1 ㎝（Ａ０サイズ）とします(タテ 210cm×ヨコ 90cm のボードを使用)。ただし、パネルの最上部タテ 10 ㎝部分には必ず、講演番号、題目、所属、氏名が印刷されるようにポスターを作成して下さい。

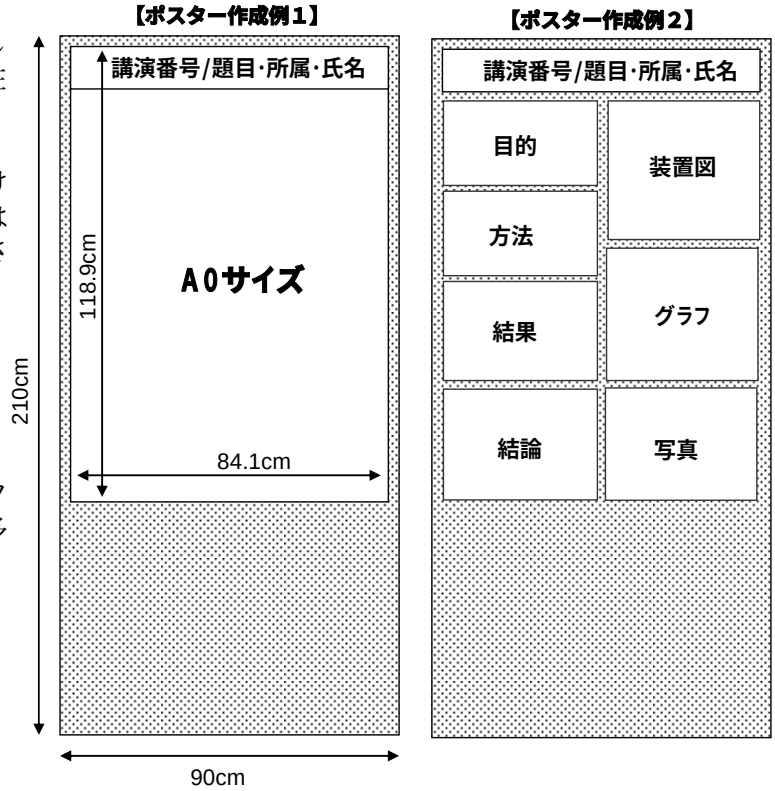
3. ポスターの理解度を深めるために、実験サンプルやアルバムを持ち込むことは、かさばらなければ可とします。ただし、ビデオ、パソコン等電源を必要とするものは不可とします。

4. ポスターの貼付、発表及び撤収時間はそれぞれ以下のとおりです。
   貼付: 6 月 1 日(水) 10:00 ～ 11:10
   発表: 6 月 1 日(水) 11:10 ～ 12:10
   撤収: 6 月 1 日(水) 13:10 ～ 15:00

5. 発表者は、ポスター貼付前に受付に到着した旨を伝え、発表者リボンを受け取り、注意事項を聞いて下さい。

6. 図面やグラフなどをパネルに直接貼り付けても構いません。 パネルへの貼り付けにはピン（会場付近にて配布）を使用して下さい。

7. 発表者は発表時間に、ポスターの前で説明を行って下さい。

8. 撤収は必ず発表者の責任でお願いします。撤収時間を過ぎた場合には、会場スタッフがポスターを撤収・廃棄しますが、毎年多大な負担となっています。ご協力下さい。

撤収期限
6 月 1 日（水）15:00
厳守して下さい